

# 計量データ受信サンプルプログラム

## 利用手順書

### 適用製品型式

#### 台はかり

KL-SD2/IP2 シリーズ、KL-SD/IP/BF シリーズ、KL-100NX(-IP) シリーズ、  
KL-100NR(-IP) シリーズ、KL-100 シリーズ

#### 本質安全防爆台はかり

KL-IS シリーズ、KL-100NX-K-IS-D シリーズ、KL-100NR-IS-D シリーズ

#### 指示計

KS-C7200/7220 シリーズ、KC-C7300HT/7320HT シリーズ、  
KS-C880/8000 シリーズ、KL-D7201/7221 シリーズ

### はじめに

このたびは、クボタ製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この手順書は、クボタ製品の計量データをお客様のパソコンに受信いただくサンプルプログラム（弊社提供）をご使用になる場合の手順を示しています。本プログラムをお使いになる前に熟読され、よくご理解のうえ、「正しい操作・正しい管理」をお願いいたします。
- 本サンプルプログラムは無償で提供しています。このままでご使用いただいたり、改造いただくことを許容しますが、販売目的で第三者に配布することを禁止します。
- 製品改良のため、本書の内容とお届けする製品の仕様が一部異なる場合があります。また、本書は万全を期して作成しておりますが、万一の誤記、記入漏れ、ご不明な点やお気づきの点がございましたら、購入された販売店または弊社サービス窓口にお問い合わせください。また、その結果によって発生した影響につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書の著作権は株式会社クボタに所属します。本書の一部または全部について弊社に許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で転載・複写・複製することを禁止します。
- いかなる場合であっても、弊社は本プログラムを使用した結果生じる損失、逸失利益などの損害について、一切の責任を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

## <目次>

1. 概要	2
2. 仕様条件	2
3. はかりとの接続	3
3-1 台はかり KL-SD2/IP2シリーズ、 KL-SD/IPシリーズ	の場合 . . . . . 3
3-2 台はかり KL-BF、KL-100NX(-IP)シリーズ、 KL-100NR(-IP)シリーズ、 KL-100シリーズ	の場合 . . . . . 4
3-3 本質安全防爆台はかり KL-ISシリーズ、 KL-100NX-K-IS-Dシリーズ、 KL-100NR-IS-Dシリーズ	の場合 . . . . . 5
3-4 指示計 KS-C7200/7220シリーズ、 KS-C7300HT/7220HTシリーズ KL-D7201/7221シリーズ	の場合 . . . . . 6
3-5 指示計 KS-C880/8000シリーズ	の場合 . . . . . 7
4. サンプルプログラムの準備	8
5. 計量データの取り込み（受信タイミング：常時受信）	11
6. 計量データの取り込み（受信タイミング：印字ボタンにて受信）	15
7. 計量データの確認・変更・保存	18
7-1 計量データの確認	18
7-2 計量データの追加	19
7-3 計量データの削除	20
7-4 計量データの保存	21
8. 業務終了	22

# 1. 概要

本サンプルプログラムは、クボタ製計量器の計量データをお客様のパソコンに受信いただくためのものです。

## 【対応計量器】

- ・台はかり
  - KL-SD2/IP2シリーズ
  - KL-SD/IPシリーズ
  - KL-BFシリーズ
  - KL-100NX(-IP)シリーズ
  - KL-100NR(-IP)シリーズ
  - KL-100シリーズ
- ・本質安全防爆台はかり
  - KL-ISシリーズ
  - KL-100NX-K-IS-Dシリーズ
  - KL-100NR-IS-Dシリーズ
- ・指示計（デジタルロードセル対応）
  - KS-C7200/7220（7300HT/7320HT）シリーズ
  - KS-C880シリーズ
  - KS-C8000(-HS)シリーズ
- ・指示計（アナログロードセル対応）
  - KL-D7201/7221シリーズ

本サンプルプログラムは、計量データを取り込む「受信タイミング」として、次のいずれかを選択することができます。

ご使用環境・目的に応じて選択してください。

- 1) 「常時受信」（指示計側はタレ流し（ストリーム）モード）の場合  
サンプルプログラム（パソコン）側の【計量】ボタンを押すことで、計量データを取り込みます。
- 2) 「印字ボタンにて受信」の場合  
台はかりまたは指示計側の【印字】に相当するボタンを押すこと、または、自動印字条件成立時に計量データを取り込みます。

# 2. 仕様条件

本サンプルプログラムを利用するために必要なお客様のパソコンの仕様は以下の通りです。

- 対応OS： Windows 10/7  
必要ソフト： Excel 2000以上（Excel 97は動作しません）  
その他： シリアルポートが1つ以上使用可能なこと。（USBシリアル変換器の使用可）

なお、ご使用に際しては、WindowsおよびExcelの基礎的な知識が必要です。

## 3. はかりとの接続

お客様のパソコンと計量器を接続するためには、オプションおよび接続ケーブルが必要です。  
また、サンプルプログラムを使用するにあたり、台はかり・指示計の通信設定等を確認・変更してください。

※台はかり・指示計の通信設定方法などの詳細は、各製品の取扱説明書を参照してください。

### 3-1 台はかり KL-SD2/IP2シリーズ、KL-SD/IPシリーズ の場合

#### 【必要なオプション】

- OP-11T RS-232Cデータ出力
- OP-12-2 RS-232Cケーブル（3m）DINコネクタ7P用  
※ケーブルはお客様でご準備いただくこともできます。

#### 【必要に応じて準備】

- USBシリアルコンバータ（例）REX-USB60F（ラトックシステム株式会社）  
※パソコンにDsub9Pが付いていない場合に使用します。

#### 【必要な通信設定】 ★：工場出荷時設定

F3…印字条件の選択

★0：手動印字

- 1：自動印字（ゼロ付近を経過後、再印字）
- 2：手動印字（上下限判定で“OK”の場合のみ印字可能）
- 3：自動印字（上下限判定で“OK”の場合のみ印字可能）
- 4：自動印字（20目量以上変化後、再印字）

※サンプルプログラムの通信設定「受信タイミング」について

「1：印字ボタンにて受信」を選択される場合に、確認・変更してください

G1…RS-232C CH2（DINコネクタ7P用）データ出力タイミングの選択

★0：出力しない

- 1：タレ流し（表示更新に同期して連続出力）
- 2：印字トリガ成立時（印字キー、自動印字条件成立時）

※サンプルプログラムの通信設定「受信タイミング」に対し、次のように設定します。

「0：常時受信」 … “1：タレ流し”

「1：印字ボタンにて受信」 … “2：印字トリガ成立時”

G2…RS-232C CH2（DINコネクタ7P用）出力データ形式の選択

★0：質量データ

- 1：スパンデータ
- 2：質量データ（印字サイン付き）

※“0：質量データ”であることを確認・設定してください。

3-2 台はかり KL-BF、KL-100NX (-IP) シリーズ  
KL-100NR (-IP) シリーズ、KL-100シリーズ の場合

【必要なオプション】

- OP-11 RS-232Cデータ出力  
OP-12-1 RS-232Cケーブル (3m) DINコネクタ3P用  
※ケーブルはお客様でご準備いただくこともできます。

【必要に応じて準備】

- USBシリアルコンバータ (例) REX-USB60F (ラトックシステム株式会社)  
※パソコンにD s u b 9 Pが付いていない場合に使用します。

【必要な通信設定】 ★：工場出荷時設定

F1…RS-232C データ出力タイミングの選択

★0：出力しない

1：タレ流し (表示更新に同期して連続出力)

2：印字トリガ成立時 (印字キー、自動印字条件成立時)

※サンプルプログラムの通信設定「受信タイミング」に対し、次のように設定します。

「0：常時受信」 … “1：タレ流し”

「1：印字ボタンにて受信」 … “2：印字トリガ成立時”

F2…RS-232C 出力データ形式の選択

★0：質量データ

1：スパンデータ

2：質量データ (印字サイン付き)

※“0：質量データ”であることを確認・設定してください。

F3…印字条件の選択

★0：手動印字

1：自動印字 (ゼロ付近を経過後、再印字)

2：手動印字 (上下限判定で“OK”の場合のみ印字可能)

3：自動印字 (上下限判定で“OK”の場合のみ印字可能)

4：自動印字 (20目量以上変化後、再印字)

※サンプルプログラムの通信設定「受信タイミング」について

「1：印字ボタンにて受信」を選択される場合に、確認・変更してください

※KL-BFは上下限判定機能が無いため、“2”および“3”は無効です。

3-3 本質安全防爆台はかり KL-1Sシリーズ、  
KL-100NX-K-1S-Dシリーズ  
KL-100NR-1S-Dシリーズ の場合

**【必要なオプション】**

RS-232C通信ユニット

USBコンバータオプション

※USBコンバータオプションには以下のものが含まれます。

・USBシリアルコンバータ REX-USB60F (ラトックシステム株)

・RS232Cクロスケーブル0.75m KRS-403XF-07K2 (サンワサプライ株)

**【必要に応じて準備】**

USBシリアルコンバータ (例) REX-USB60F (ラトックシステム株式会社)

RS232Cクロスケーブル

※上記USBコンバータオプションを使用されない場合にご準備ください。

**【必要な通信設定】 ★：工場出荷時設定**

F1…RS-232C データ出力タイミングの選択

★0：出力しない

1：タレ流し (表示更新に同期して連続出力)

2：印字トリガ成立時 (印字キー、自動印字条件成立時)

※サンプルプログラムの通信設定「受信タイミング」に対し、次のように設定します。

「0：常時受信」 … “1：タレ流し”

「1：印字ボタンにて受信」 … “2：印字トリガ成立時”

F2…RS-232C 出力データ形式の選択

★0：質量データ

1：スパンデータ

2：質量データ (ジャーナルプリンタ使用時)

3：CCUユニット使用時

※“0：質量データ”であることを確認・設定してください。

F3…印字条件の選択

★0：手動印字

1：自動印字 (ゼロ付近を経過後、再印字)

2：手動印字 (上下限判定で“OK”の場合のみ印字可能)

3：自動印字 (上下限判定で“OK”の場合のみ印字可能)

4：自動印字 (20目量以上変化後、再印字)

※サンプルプログラムの通信設定「受信タイミング」について

「1：印字ボタンにて受信」を選択される場合に、確認・変更してください

### 3-4 指示計 KS-C7200/7220 (7300HT/7320HT) シリーズ、 KL-D7201/7221シリーズ の場合

#### 【必要なオプション】

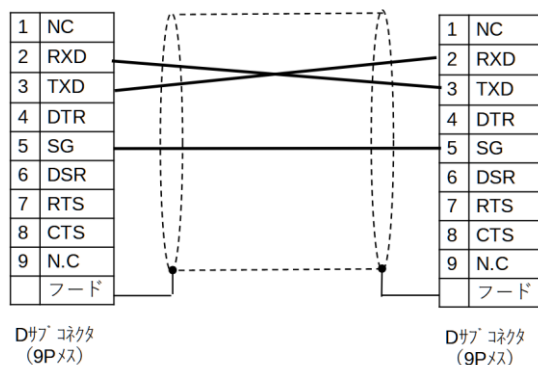
特になし。※RS-232C通信用のDsub9Pコネクタが標準装備されています。

#### 【必要に応じて準備】

USBシリアルコンバータ (例) REX-USB60F (ラトックシステム株式会社)

RS232Cクロスケーブル

※市販のクロスケーブルも利用できます。(制御線は使用しません)



#### 【必要な通信設定】 ★：工場出荷時設定

No. 211…通信モード

0：無し

★1：ホスト通信

2：KJ-1000

3：他のプリンタ

※“1：ホスト通信”であることを確認・設定してください。

No. 212～216…通信設定

※基本的に初期設定を使用してください。

※必要に応じて、サンプルプログラム側と設定を一致させてください。

No. 217…ホスト通信機能

0：ストリーム

1：外部印字

★2：コマンド通信

※サンプルプログラムの通信設定「受信タイミング」に対し、次のように設定します。

「0：常時受信」 … “0：ストリーム”

「1：印字ボタンにて受信」 … “1：外部印字”

No. 218…送信データ選択

★0：表示質量 1：正味量 2：総量・・・

※基本的に“0：表示質量”または“1：正味量”を使用してください。

### 3-5 指示計 KS-C880/8000シリーズ の場合

#### 【必要なオプション】

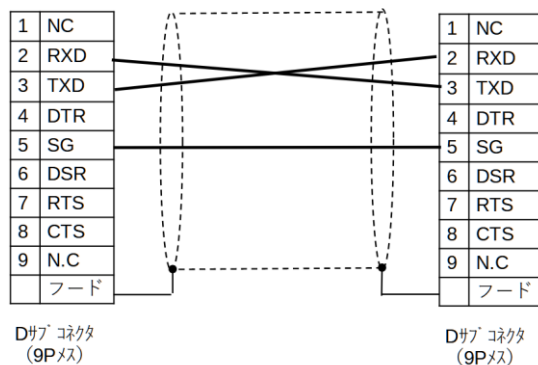
特になし。※RS-232C通信のD s u b 9 Pコネクタが標準装備されています。

#### 【必要に応じて準備】

USBシリアルコンバータ (例) REX-USB60F (ラトックシステム株式会社)

RS232Cクロスケーブル

※市販のクロスケーブルも利用できます。(制御線は使用しません)



#### 【必要なシリアルポート設定】 ★：工場出荷時設定

№. 1…用途設定

- ★ 接続なし  
プリンタ  
ホスト

※“ホスト”に変更してください。

№. 2～6…通信設定

※基本的に初期設定を使用してください。

※必要に応じて、サンプルプログラム側と設定を一致させてください。

№. 7…出力モード

- 連続 (ストリーム)
- トリガ (外部印字)

- ★ コマンド

※サンプルプログラムの通信設定「受信タイミング」に対し、次のように設定します。

- 「0：常時受信」 … “連続”
- 「1：印字ボタンにて受信」 … “トリガ”

№. 8…フォーマット

- 表示量 / 総量 / 正味量 / 風袋量 / 総正風

※基本的に“表示量”または“正味量”を使用してください。



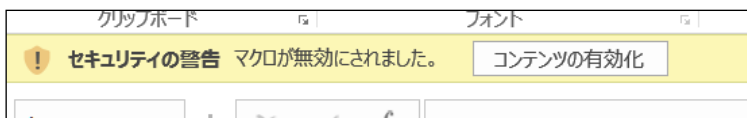
## 4. サンプルプログラムの準備

弊社Webサイトからダウンロードいただいたサンプルプログラムを使用するために、以下のパソコン側の準備をしてください。

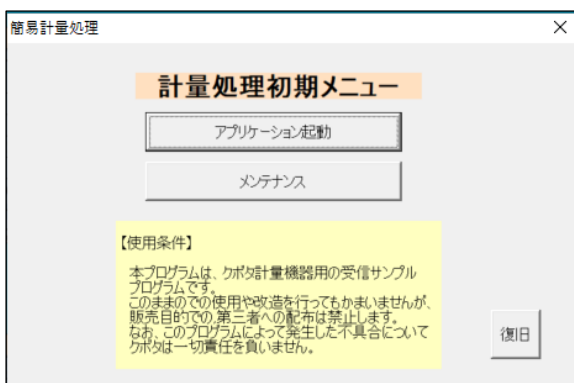
- 1) パソコンに新しいフォルダを作成し、ダウンロードしたサンプルプログラムを保存します。  
※フォルダの名称を変更しても構いません。



- 2) サンプルプログラムのファイルをダブルクリックし、起動します。  
※以下のメッセージが表示された場合、「コンテンツを有効化」をクリックします。



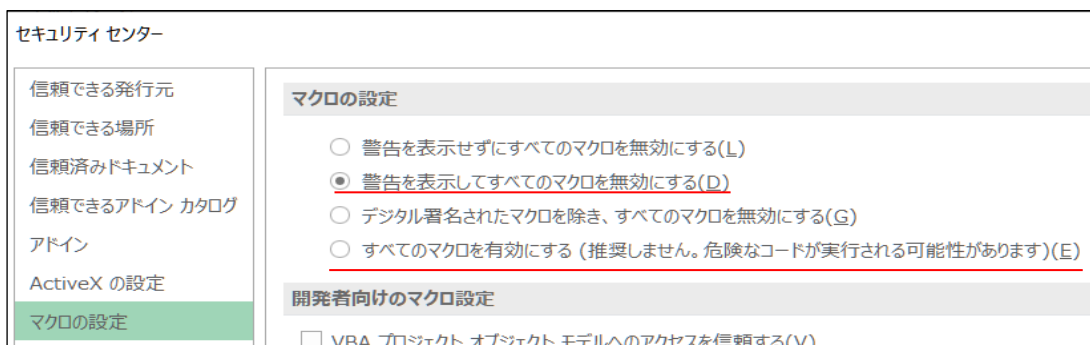
- 3) 【計量処理初期メニュー】ウィンドウが表示されます。



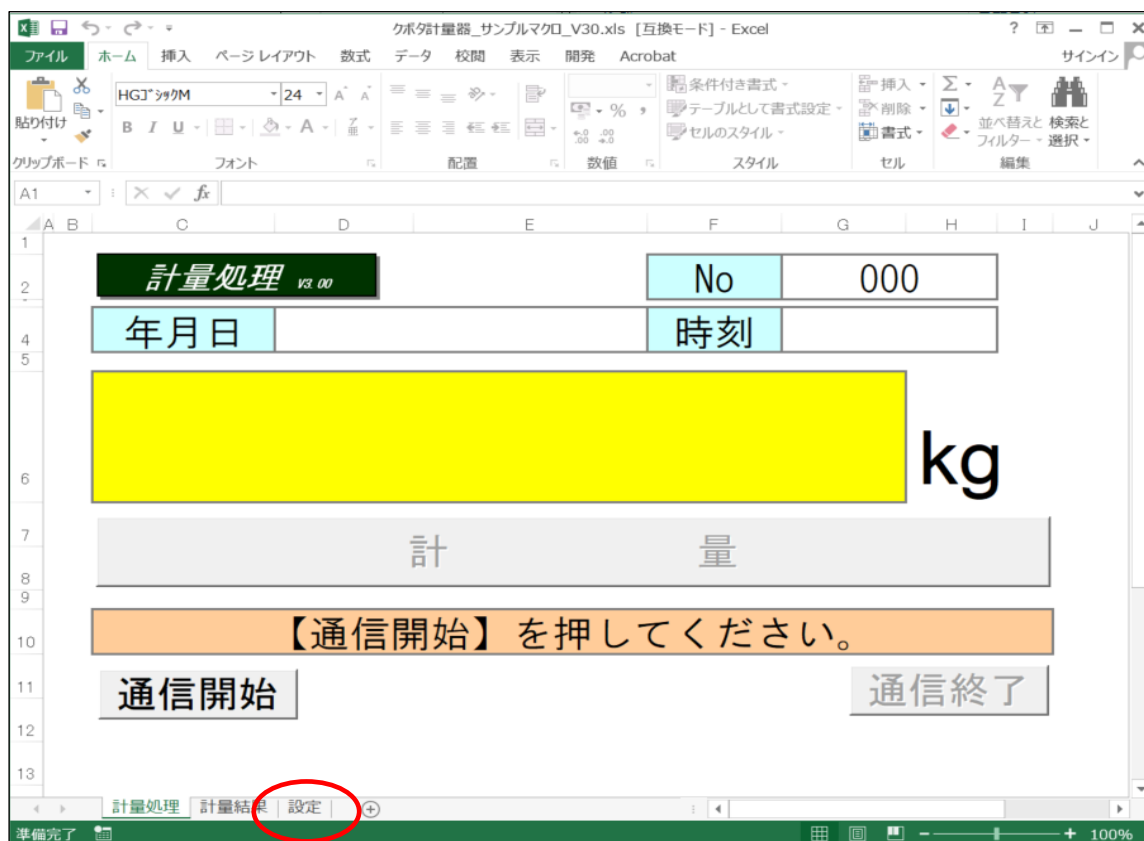
- 4) サンプルプログラムを使用する前に、初期設定をします。

「メンテナンス」をクリックします。

- ※【計量処理初期メニュー】が表示されない場合、マクロ動作が禁止されています。  
Excel のセキュリティセンターで、「マクロの設定」を確認してください。



- 5) 【計量処理初期メニュー】ウィンドウが消え、Excel ワークシートが表示されます。下部のシート切替タブをクリックし、「設定」ワークシートを表示させます。



- 6) 設定一覧が表示されます。使用する計量器やパソコンのシステムに合わせ、設定内容（白色のセル）の数値・記号を変更してください。  
※すべて半角で入力します。

計量器設定		
項目	設定内容	備考
計量器の種類	1	0 : K L 台はかり（本質安全防爆台はかりを含む） 1 : 指示計（KS-C7200/7220/880/8000シリーズ、KL-D7201/7221シリーズ）
小数点位置	1	0 :（無）、1 : 0.1、2 : 0.01、3 : 0.001、4 : 0.0001
計量単位	kg	g、kg
計量開始質量	2.0	この数値以上で、計量を開始します。 ※【通信設定】の「受信タイミング」が、「0 : 常時受信」のときのみ有効です。
計量終了質量	1.0	この数値未満で、計量を終了します。 ※【通信設定】の「受信タイミング」が、「0 : 常時受信」のときのみ有効です。

#### 【計量器設定】

- 計量器の種類：使用する計量器を選択します。
- 小数点位置：使用する計量器の目量に基づき、小数点位置を設定します。  
 ※目量切替機能を有する場合、細かい方の目量の小数点位置を設定します。
- 計量単位：使用する計量器の目量に基づき、計量単位を選択します。
- 計量開始質量：計量を開始する閾値を設定します。
- 計量終了質量：計量を終了する閾値を設定します。

通信設定		
項目	設定内容	備考
ポートNo	6	パソコンのデバイスマネージャーでCOMポート番号を確認し、設定してください。
ボーレート	9600	38400, 19200, 9600, 4800, 2400
ビット長	8	8 : 8ビット、7 : 7ビット
ストップビット	1	1 : 1ビット、2 : 2ビット
パリティ	N	N : 無し、E : 偶数、O : 奇数
受信タイミング 補足	0	0 : 常時受信、1 : 印字ボタンにて受信 【計量器設定】の「計量器の種類」が、「1 : 指示計」の場合、 ・常時受信（ストリームモード）の計量データは、「表示質量」または「正味質量」としてください。 ・ターミネータはCR+LFとしてください。

#### 【通信設定】

- ・ポートNo : ご使用になるRS-232C通信ポートを設定してください。  
**※パソコンのデバイスマネージャーで必ず事前に確認・設定してください。**
- ・ボーレート : 台はかり・指示計の通信設定に合わせてください。  
KL台はかり… デフォルト値：2400 ※他は使用できません。  
指示計 … デフォルト値：9600 ※2400/4800/19200/38400 を選択可
- ・ビット長 : 台はかり・指示計の通信設定に合わせてください。  
KL台はかり… デフォルト値：7 ※他は使用できません。  
指示計 … デフォルト値：8 ※7ビットを選択可
- ・ストップビット : 台はかり・指示計の通信設定に合わせてください。  
KL台はかり… デフォルト値：1 ※他は使用できません。  
指示計 … デフォルト値：1 ※2ビットを選択可
- ・パリティ : 台はかり・指示計の通信設定に合わせてください。  
KL台はかり… デフォルト値：0 ※他は使用できません。  
指示計 … デフォルト値：N ※E/Oを選択可
- ・受信タイミング : ご使用環境・目的に応じて選択してください。  
(1. 概要 のページを参照ください)

その他設定		
項目	設定内容	備考
自動保存	1	0 : 無し、1 : 有り (計量の都度、本Excelファイルを保存します。)
プリンタ	0	0 : 無し、1 : 有り プリンタドライバ名は「EPSON VP-1100」としてください。 この名前のドライバに印字データを送ります。

#### 【その他設定】

- ・自動保存 : 計量の都度、自動保存するかどうかを設定します。
- ・プリンタ : 備考欄に記載のプリンタをご使用の場合のみ、有効です。

7) すべての項目の確認・設定が完了すれば、Excelを一旦閉じます。

## 5. 計量データの取り込み (受信タイミング：常時受信)

サンプルプログラム (パソコン側) の【計量】ボタンを押すことで、計量データを取り込みます。

※【通信設定】の「受信タイミング」の項目で、「0：常時受信」を設定した場合の操作です。

※以下の操作例は、次の【計量器設定】【通信設定】に基づきます。

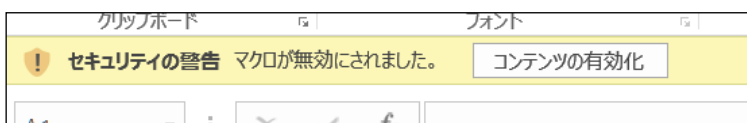
計量器設定		
項目	設定内容	備考
計量器の種類	0	0：K L台ばかり (本質安全防爆台ばかりを含む) 1：指示計 (KS-C7200/7220/880/8000シリーズ、KL-D7201/7221シリーズ)
小数点位置	2	0：(無)、1：0.1、2：0.01、3：0.001、4：0.0001
計量単位	kg	g、kg
計量開始質量	0.20	この数値以上で、計量を開始します。 ※【通信設定】の「受信タイミング」が、「0：常時受信」のときのみ有効です。
計量終了質量	0.10	この数値未満で、計量を終了します。 ※【通信設定】の「受信タイミング」が、「0：常時受信」のときのみ有効です。

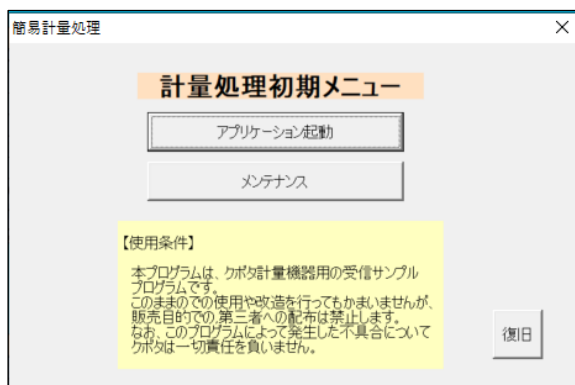
通信設定		
項目	設定内容	備考
ポートNo	6	パソコンのデバイスマネージャーでCOMポート番号を確認し、設定してください。
ポート	2400	38400、19200、9600、4800、2400
ビット長	7	8：8ビット、7：7ビット
ストップビット	1	1：1ビット、2：2ビット
パリティ	0	N：無し、E：偶数、O：奇数
受信タイミング補足	0	0：常時受信、1：印字ボタンにて受信 【計量器設定】の「計量器の種類」が、「1：指示計」の場合、 ・常時受信 (ストリームモード) の計量データは、「表示質量」または「正味質量」としてください。 ・ターミネータはCR+LFとしてください。

1) サンプルプログラムのファイルをダブルクリックし、起動します。

※以下のメッセージが表示された場合、「コンテンツを有効化」をクリックします。

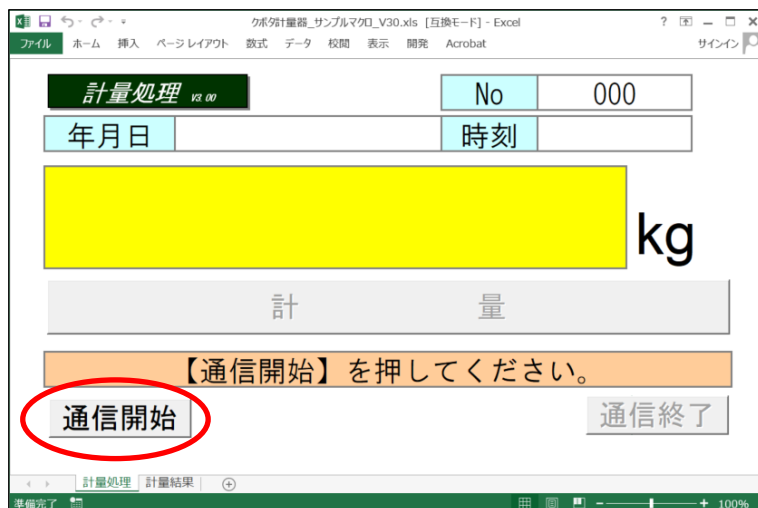


2) 【計量処理初期メニュー】ウィンドウが表示されます。

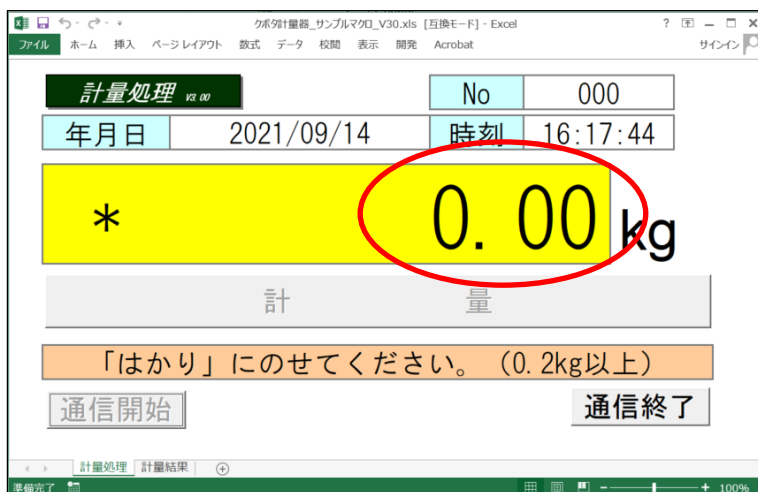


3) 「アプリケーションを起動」をクリックします。【計量処理】画面が表示されます。

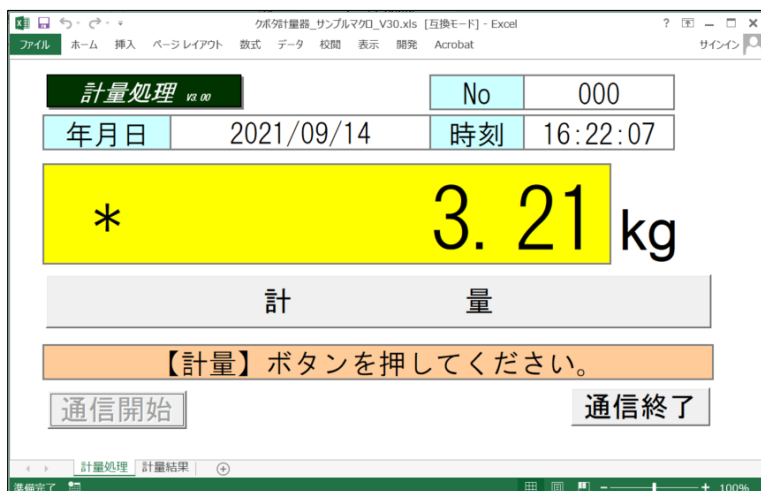
- 4) 計量器の電源を入れてから、左下の「通信開始」ボタンをクリックします。



- 5) はかりの表示が「0 (ゼロ)」であることを確認します。

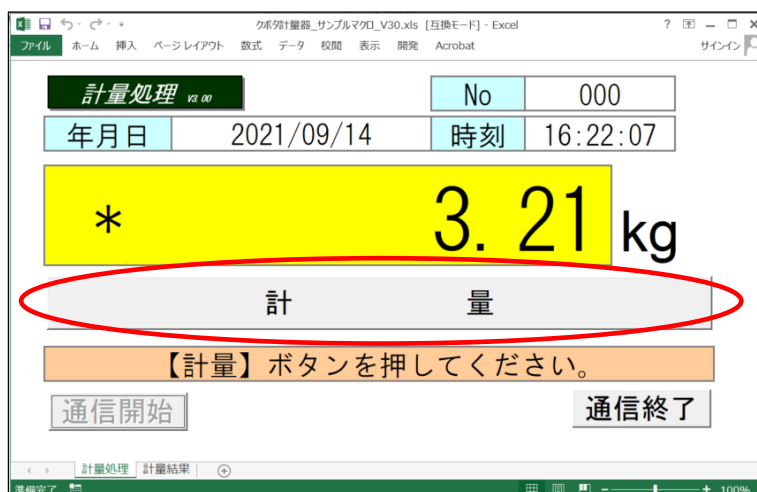


- 6) 「計量開始質量」以上の質量の被計量物を計量器に載せます。

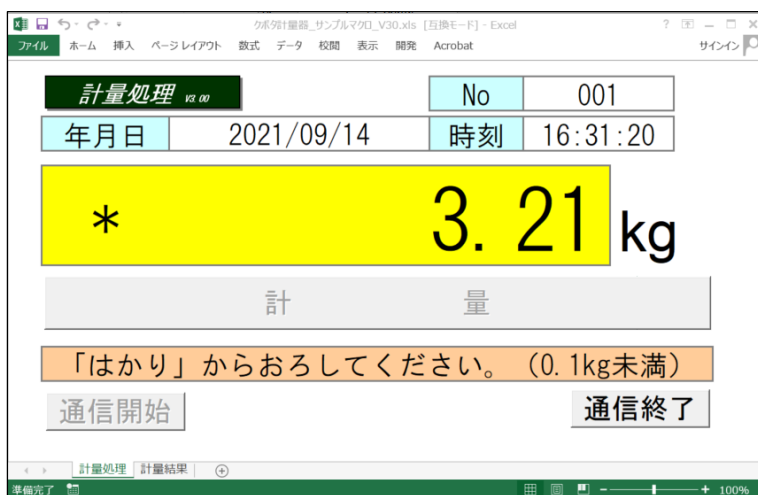


“【計量】ボタンを押してください”のガイダンスを表示します。

7) 「計量」ボタンをマウスでクリックします。



バランス検出後、“処理中です。”のガイダンスが短時間表示され、計量データが確定します。確定した計量データは、パソコンの日付・時刻データとともに「計量結果」ワークシートに記録されます。



※被計量物を降ろし、次の計量を待機している間は、質量値など情報表示が保持されます。

「計量結果」ワークシートに保存された計量データ

計量 No.	日付	時刻	質量
001	2021/09/14	16:31:20	3.21
002			
003			
004			

8) 被計量物を降ろします。5) の画面に戻ります。

計量処理	No	000	
年月日	2021/09/14	時刻	16:17:44
* 0.00 kg			
計量			
「はかり」にのせてください。(0.2kg以上)			
通信開始		通信終了	

9) 以下、5) ~ 8) を繰り返す、計量データを取り込みます。

10) 計量作業が終了したら、「通信終了」ボタンをクリックします。

計量処理	No	000	
年月日	2021/09/14	時刻	16:17:44
* 0.00 kg			
計量			
「はかり」にのせてください。(0.2kg以上)			
通信開始		通信終了	

## 6. 計量データの取り込み (受信タイミング：印字ボタンにて受信)

台はかりまたは指示計側の【印字】ボタンを押すことで、または、自動印字条件成立時に計量データを取り込みます。

※【通信設定】の「受信タイミング」の項目で、「1：印字ボタンにて受信」を設定した場合の操作です。

※以下の操作例は、次の【計量器設定】【通信設定】に基づきます。

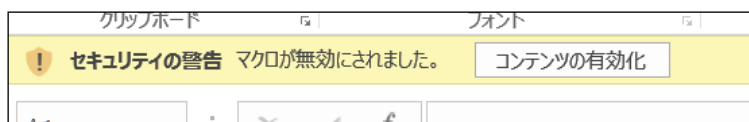
計量器設定		
項目	設定内容	備考
計量器の種類	0	0：KL台はかり(本質安全防爆台はかりを含む) 1：指示計(KS-C7200/7220/880/8000シリーズ、KL-D7201/7221シリーズ)
小数点位置	2	0：(無)、1：0.1、2：0.01、3：0.001、4：0.0001
計量単位	kg	g、kg
計量開始質量	0.20	この数値以上で、計量を開始します。 ※【通信設定】の「受信タイミング」が、「0：常時受信」のときのみ有効です。
計量終了質量	0.10	この数値未満で、計量を終了します。 ※【通信設定】の「受信タイミング」が、「0：常時受信」のときのみ有効です。

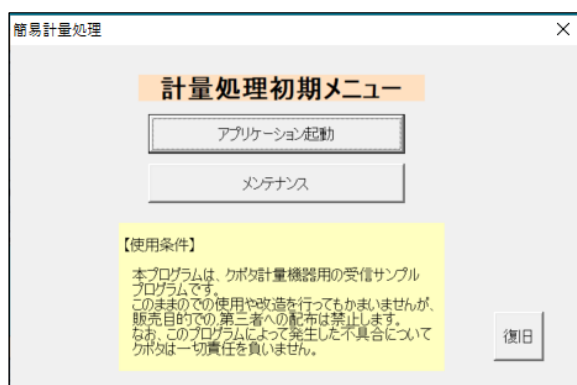
通信設定		
項目	設定内容	備考
ポートNo	6	パソコンのデバイスマネージャーでCOMポート番号を確認し、設定してください。
ポート	2400	38400、19200、9600、4800、2400
ビット長	7	8：8ビット、7：7ビット
ストップビット	1	1：1ビット、2：2ビット
パリティ	0	N：無し、E：偶数、O：奇数
受信タイミング	1	0：常時受信、1：印字ボタンにて受信
補足		【計量器設定】の「計量器の種類」が、「1：指示計」の場合、 ・常時受信(ストリームモード)の計量データは、「表示質量」または「正味質量」としてください。 ・ターミネータはCR+LFとしてください。

1) サンプルプログラムのファイルをダブルクリックし、起動します。

※以下のメッセージが表示された場合、「コンテンツを有効化」をクリックします。



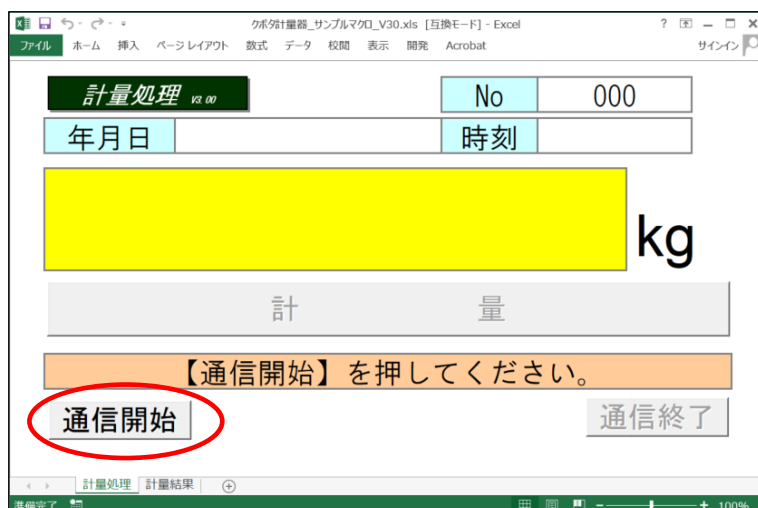
2) 【計量処理初期メニュー】ウィンドウが表示されます。



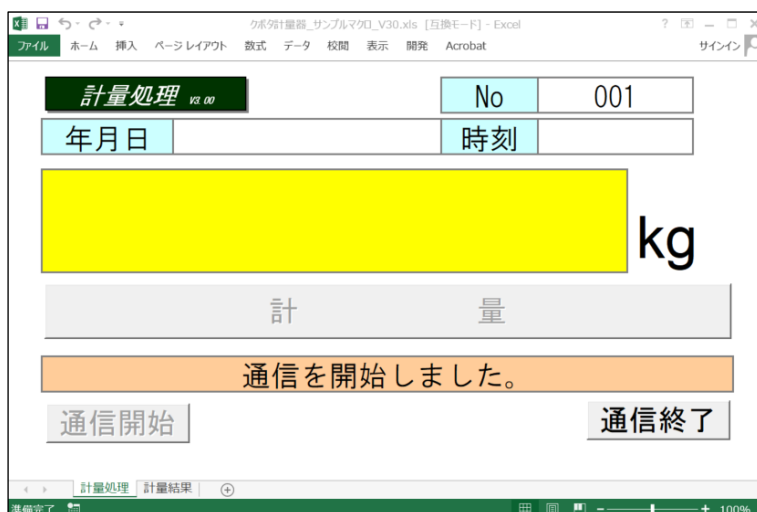
3) 「アプリケーションを起動」をクリックします。【計量処理】画面が表示されます。



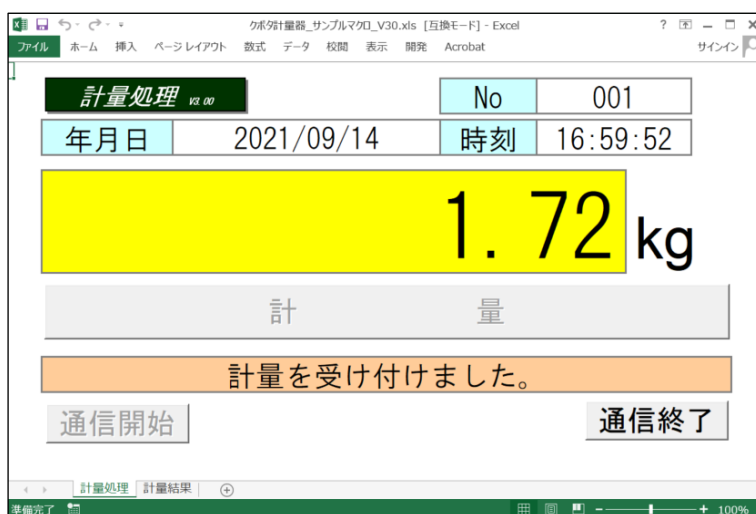
- 4) 計量器の電源を入れてから、左下の「通信開始」ボタンをクリックします。



- 5) 通信を開始し、計量待機画面が表示されます。



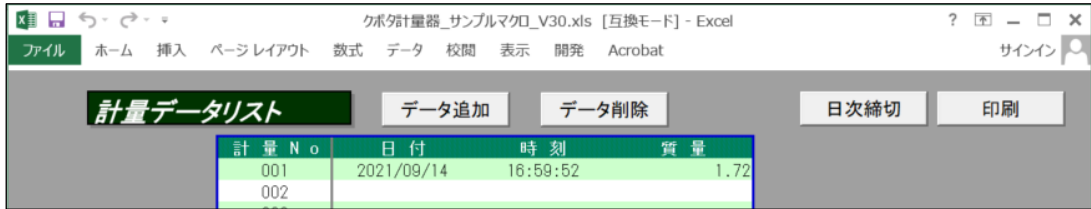
- 6) 計量器に被計量物を載せ、バランスを確認後、計量器の「印字」ボタンを押します。  
※計量器によっては、「印字」ではなく「W」などの記号を使用しています。



“計量を受け付けました” のガイダンスを表示します。(2秒程度)

確定した計量データは、パソコンの日付・時刻データとともに「計量結果」ワークシートに記録されます。

「計量結果」ワークシートに保存された計量データ



The screenshot shows an Excel window titled 'クボタ計量器\_サンプルマクロ\_V30.xls [互換モード] - Excel'. The main content is a table with the following data:

計量 No.	日付	時刻	質量
001	2021/09/14	16:59:52	1.72
002			

7) 被計量物を降ろします。

※被計量物を降ろし、次の計量を待機している間は、質量値などの情報表示が保持されます。



The screenshot shows the '計量処理' (Measurement Processing) screen. It displays the following information:

- No: 002
- 年月日: 2021/09/14
- 時刻: 17:07:09
- Mass: 1.72 kg
- Buttons: 計量 (Measurement), 通信開始 (Start Communication), 通信終了 (End Communication)

8) 以下、5)～7)を繰り返し、計量データを取り込みます。

※計量器の「印字」ボタンを押すたびに、この処理が実行されます。

9) 計量作業が終了したら、「通信終了」ボタンをクリックします。



The screenshot shows the '計量処理' (Measurement Processing) screen. It displays the following information:

- No: 003
- 年月日: 2021/09/14
- 時刻: 17:14:21
- Mass: 0.00 kg
- Buttons: 計量 (Measurement), 通信開始 (Start Communication), 通信終了 (End Communication)

The '通信終了' (End Communication) button is circled in red.

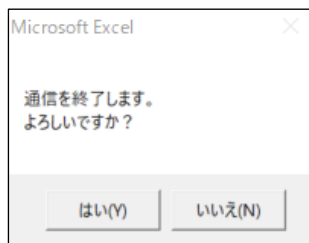
## 7. 計量データの確認・変更・保存

取り込んだ計量データを確認・変更できます。

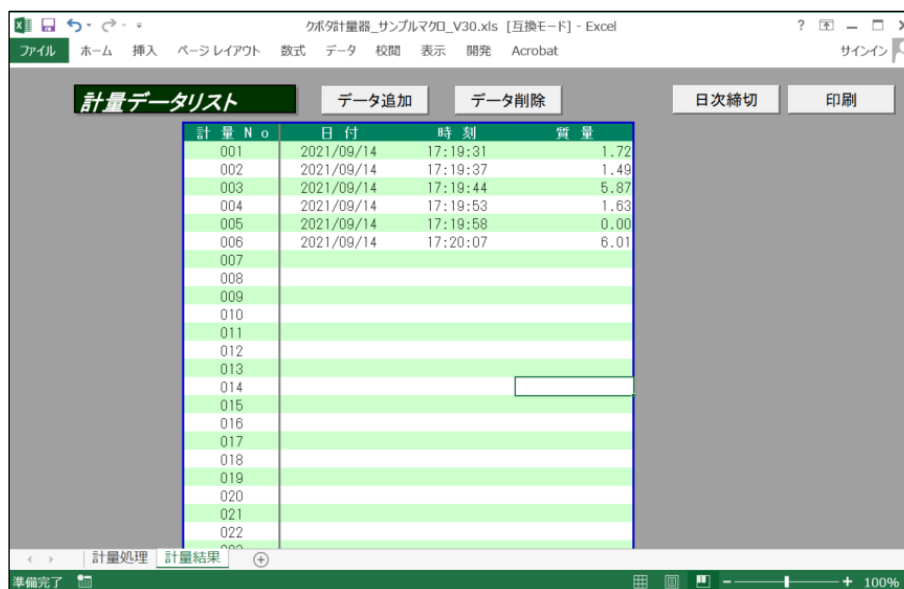
また、計量業務が完了し、取り込んだ計量データを excel 形式で保存することができます。

### 7-1 計量データの確認

- 1) 「通信終了」ボタンを押して通信を終了します。



- 2) 「計量結果」ワークシートを表示します。



The screenshot shows an Excel spreadsheet titled "クボタ計量器\_サンプルマクロ\_V30.xls [互換モード] - Excel". The spreadsheet has a green header row and alternating green and white rows. The columns are labeled "計量 No.", "日付", "時刻", and "質量". The data rows are as follows:

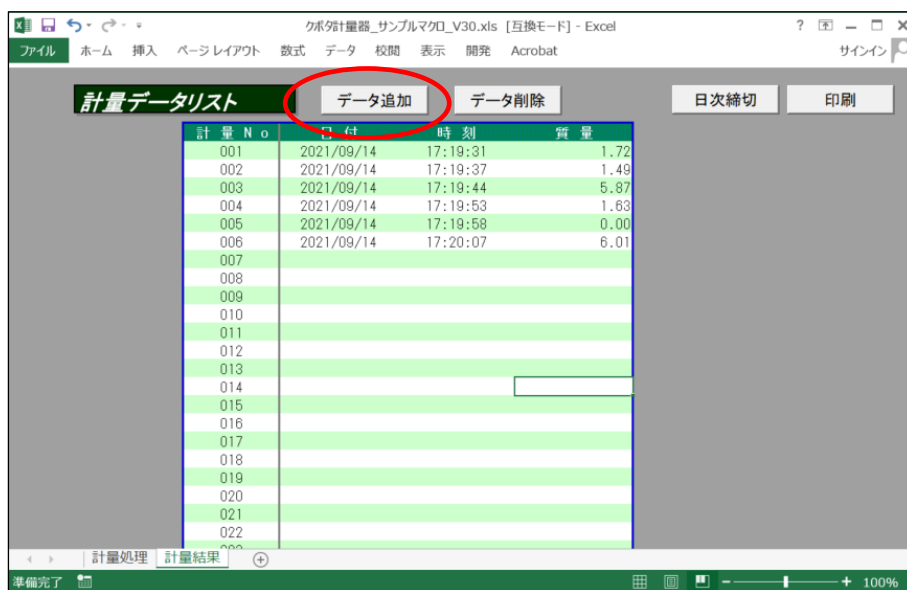
計量 No.	日付	時刻	質量
001	2021/09/14	17:19:31	1.72
002	2021/09/14	17:19:37	1.49
003	2021/09/14	17:19:44	5.87
004	2021/09/14	17:19:53	1.63
005	2021/09/14	17:19:58	0.00
006	2021/09/14	17:20:07	6.01
007			
008			
009			
010			
011			
012			
013			
014			
015			
016			
017			
018			
019			
020			
021			
022			

※上下カーソルまたはスクロールバーで画面を上下に動かすことができます。

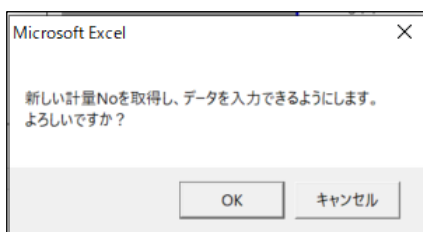
データを変更する場合は、変更したいセル位置にカーソルを移動し、数値を入力します。

## 7-2 計量データの追加

1) データを追加するには「データ追加」をクリックします。



2) 確認ウィンドウが表示されます。



3) 「OK」ボタンをクリックすると、新しい行に“日付”“時刻”が自動入力され、質量欄にカーソルが移動しますので、質量値を入力します。

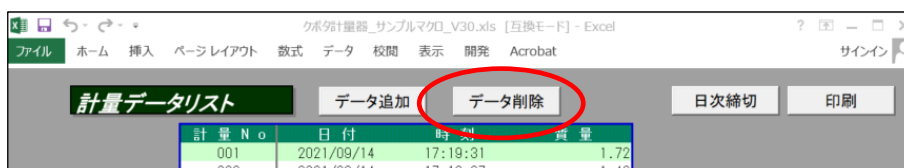
003	2021/09/14	17:19:44	5.87
004	2021/09/14	17:19:53	1.63
005	2021/09/14	17:19:58	0.00
006	2021/09/14	17:20:07	6.01
007	2021/09/14	17:28:18	
008			

### 7-3 計量データの削除

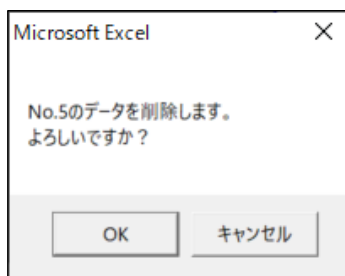
1) データを削除するには、削除したい行にカーソルを合わせ「データ削除」をクリックします。

計量 No	日付	時刻	質量
001	2021/09/14	17:19:31	1.72
002	2021/09/14	17:19:37	1.49
003	2021/09/14	17:19:44	5.87
004	2021/09/14	17:19:53	1.63
005	2021/09/14	17:19:58	0.00

(例として、No. 5を削除します。)



2) 確認ウィンドウが表示されます。



3) 「OK」ボタンをクリックすると、選択した行のデータが削除されます。

(内容がすべて空白になります。)

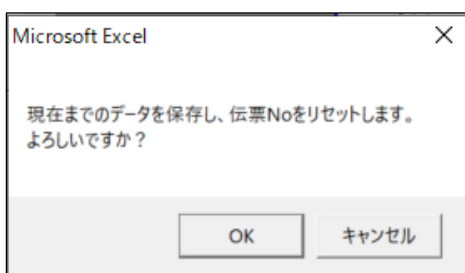
計量 No	日付	時刻	質量
001	2021/09/14	17:19:31	1.72
002	2021/09/14	17:19:37	1.49
003	2021/09/14	17:19:44	5.87
004	2021/09/14	17:19:53	1.63
005			

## 7-4 計量データの保存

- 1) 計量業務が完了し、計量データを出力するには、「日時締切」をクリックします。



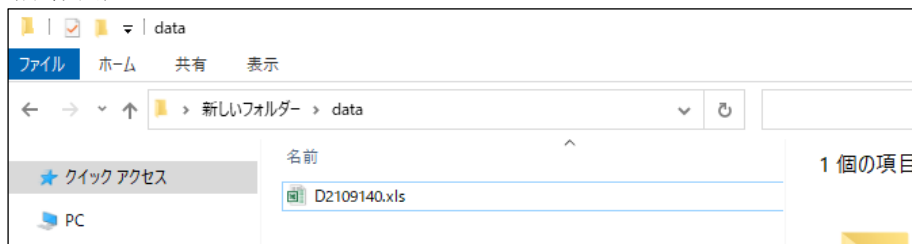
- 2) 確認ウィンドウが表示されます。



- 3) 「OK」ボタンをクリックすると、計量結果のデータが以下のファイルに保存されます。

保存先： インストール先フォルダ ¥data ¥Dyymmddn.xls  
yy 西暦年下2桁  
mm 月2桁  
dd 日2桁  
n 連番(0～)

(保存例)



同時に、「計量結果」ワークシート内の計量データは、すべてクリアされます。  
保存されたデータファイルは、必ず業務終了をしてから参照してください。

## 8. 業務終了

サンプルプログラムのウィンドウ右上の「X」をクリックし、Excel を終了します。

【製品型式】

【器 番】


【販売店】

TEL :

FAX :

**株式会社クボタ** 精密機器事業ユニット

クボタお客様相談窓口<コールセンター>

 0120-732-058 (フリーダイヤル)

久宝寺事業センター 〒581-8686 大阪府八尾市神武町2番35号

クボタ計量器ホームページ

<https://scale.kubota.co.jp/>

20230612